

国内建材業界初 「ESG/SDGs評価」に基づく コミットメントライン・シンジケーション契約を締結

大建工業株式会社(大阪市北区中之島、社長:億田正則)は、株式会社三井住友銀行(東京都千代田区、頭取 CEO:高島 誠、以下、SMBC)をアレンジャーとする「ESG/SDGs 評価」に基づく、同社とのコミットメントライン・シンジケーション[※]契約を締結いたしました。なお、本契約は、当社が国内建材業界初の案件となります。

本件は、SMBCと株式会社日本総合研究所(東京都品川区、代表取締役社長:谷崎 勝教)が作成した基準に基づき、当社の ESG の取り組みや情報開示、SDGs 達成への貢献を評価し、その趣旨にご賛同いただいた金融機関によって組成される、コミットメントライン・シンジケーション契約となります。

今回、当社は、「サステナビリティへのコミットメント」、「事業活動における環境負荷軽減の取り組み」、「従業員への配慮」において高い水準であると判断いただきました。加えて、企業経営において優れた ESG 側面の取り組みと情報開示を実施している点や、事業を通じた SDGs 達成への高い貢献意欲について評価を受けました。

当社は今後も、環境に配慮した製品のご提案などを通じて、持続可能な社会の実現に向けた事業活動を推進するとともに、SDGs を含めた社会的課題の解決へ、一層の貢献を果たしてまいります。

※コミットメントライン ……銀行が融資枠金額・期間の範囲内で、借入人の請求に基づく融資の実行を約束する取引のこと。
シンジケーション ……借入人と複数の金融機関が同一契約書に基づき、融資等の取引を行うこと。

【主な評価ポイント】

● ESG

- ① 長期ビジョン「GP25」と中期経営計画、並びに中期 ESG 計画を組み合わせ、経営上の重要課題としてサステナビリティの取り組みを推進し、事業を通じた社会課題解決の追求により成長することを明確に示している点
- ② 事業活動に伴う温室効果ガス排出量について総量削減目標を経営目標とし、木質バイオマスを中心とした再生可能エネルギーの利用拡大等を推進するほか、水資源や廃棄物等の環境負荷低減に総合的に取り組んでいる点
- ③ ダイバーシティ推進、働き方改革推進、人財育成、安全基本方針を整備して従業員の働きやすさや育成に取り組み、労働安全衛生や多様な働き方の実現に関連する指標を含む ESG データを開示している点

● SDGs

SDGs が示す「目標 12: つくる責任つかう責任」「目標 15: 陸の豊かさを守ろう」等の達成に向けて明確な意欲を持ち、社会課題への貢献を意識した開示を実践している点

以上

※ここに掲載されている情報は発表時のものであり、ご覧になられている日と情報が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。